

## 会 議 議 事 録

1 会議名	第28回長岡市馬高・三十稲場遺跡整備活用委員会
2 開催日時	平成28年11月28日（火曜日） 午後1時30分から3時00分まで
3 開催場所	長岡市馬高縄文館学習室（長岡市関原町1丁目）
4 出席者名	委員：小林委員（委員長）・内山委員（副委員長）・安藤委員・ 小野委員・笹川委員・星野委員・渡辺委員、新潟県文化 行政課三ツ井専門調査員 事務局：金澤教育部長 小熊科学博物館長、佐藤館長補佐、小林主査、水島専 門員、野水専門員
5 欠席者名	宮本委員・吉井委員
6 議題	○史跡馬高・三十稲場遺跡の保存及び整備並びにその活用について （1）平成29年度事業の実施状況について （2）平成30年度の事業計画について
7 審議結果の概要	○史跡馬高・三十稲場遺跡の保存及び整備並びにその活用について （1）平成29年度の事業実施状況について 馬高・三十稲場遺跡（馬高縄文館）の管理運営事業や公開活用 事業等について、平成28年度の実施状況を事務局が報告し、意見 をいただいた。 （2）平成30年度の事業計画について 馬高・三十稲場遺跡（馬高縄文館）の管理運営事業や公開活用 事業等について、平成29年度の事業計画を事務局が説明し、意見 をいただいた。

8 審議の内容

(1)平成 29 年度事業の実施状況について

○主な質問・意見等

<実施状況について>

(質問) 修復事業について、事業者はどこか

(回答) 東京の「文化財ユニオン」に委託している。同社には重要文化財の修繕経験がある数社で入札の結果決まったものです。

(質問) 修復の内容について

(回答) 過去に石膏により補修されたもののうち、時間がたち補修部分が壊れ始めているものを順次修繕している。修繕には樹脂による修繕を行っている。

(質問) 京都での展示会の反応はどうであったか

(回答) 1 か月半ほどの展示であったが、約 7,000 人の来館者があり、会場であった京都大学総合博物館で考古学関係の展示の中でも来館者数が多いほうだということを知っている。

(質問) 関原楽市縄文祭りにおける来館者はどれくらいであったか

(回答) 約 1,000 人ほど。普段縄文時代に興味を持たず、来館しないような人も来てもらっている。

(質問) 出前講座などもしているが、講座後の教育的な効果の確認などは行っているか。

(回答) 授業などの一環で行っているため、馬高縄文館側からその後の学習効果などについての確認は行っていない。ただし、地元の関原小学校では総合的な学習の時間で毎年縄文時代をテーマに学習しており、新潟県立歴史博物館などで行っている博学連携事業で成果を発表している。

(質問) 中学校の来館などはあるのか

(回答) グループ学習などの少人数での来館などはたまにあるが、学年での来館や出前事業の依頼はあまりない。今年度も 1 件依頼があったが、生徒が小学生の時代に来館したことがあり、それよりもハイレベルな内容を依頼された。

(2)平成 30 年度の事業計画について

<事業計画について>

(質問) 報告書について、整備事業の報告書になるのか、発掘調査の報告書になるのか。また、その発刊はいつごろか。

(回答) 馬高・三十稲場遺跡の整備は今後も続くが、区切りとしてこれまでの整備についての報告が必要と考えている。また、馬高・三十稲場遺跡は過去何度も発掘がなされており、調査ごと

	<p>に図面の位置が微妙に異なるものもある。また、土器などの修復により大きさが変わるなど、実測図の作り直しも必要と思われるので、学術的な見直しも必要と考えている。これらのことから、1冊の総括的な報告書として公開していきたいと思う。</p> <p>また、時期については現在土器などの数量を調査中であるのではっきりとは言えないが5年以内をめどに考えている。</p> <p>(質問) 藤橋歴史の広場への来館者数はどれくらいか。</p> <p>(回答) 建物に入らず園内に来た人も含んでいるが、約 13,000 人が来園している。</p> <p>(質問) 新潟県文化行政課から一言。</p> <p>(県文化行政課) 文化庁では、近年の史跡指定に際して発掘調査の総括報告書を刊行して史跡の価値を特定するようにしている。また、現在文化財保護法の改定作業が行われており、史跡ではこれまで努力目標ともいえるものであった保存管理計画が必須のものとなるとの話も出ている。馬高・三十稲場遺跡でも史跡地の追加指定があったことから、総括報告書を刊行し、それらの結果をもとに遺跡の価値を高めるために史跡の保存管理計画を策定してもらいたい。</p> <p>(質問) 来年は開府 400 年記念事業が行われるが、馬高・三十稲場遺跡で何かかわりがあるようなものはないのか。</p> <p>(回答) 火焰土器を発掘した近藤家は、戊辰戦争にかかわる話(物見の松)などもあるが、当時の資料が少なく 400 年記念事業とかわりは見いだせていない。</p> <p>(質問) 縄文カフェは今後続けていくのか。</p> <p>(回答) 事業主である「ながおか・若者・しごと機構」との相談になるが、縄文時代に興味がない人も来てもらえることは喜ばしいことなので、別の方法なども考慮して何らかのかたちで継続できるとありがたい。</p>
9 会議資料	別添のとおり